

第14回尼崎市動物愛護管理推進協議会議事要旨

1 日時

平成26年8月25日(月) 午後2時から午後4時

2 場所

尼崎市議会棟 第3委員会室

3 出席者

(1) 委員7名(五十音順 敬称略)

入江昭子、植村興、笹木眞理子、佐藤由希子、瀬戸口敬幸、藤村貴代美、安福章(保健所長代理)

(2) 事務局

宮永生活衛生課長、大平生活衛生課動物愛護センター所長、林生活衛生課動物愛護担当係長

4 議事の概要

(1) 委員の交代について

・社協委員の役員交代により、松井定雄氏が新たに委員となった。

(2) 第13回会議の議事要旨について

・了承された。

(3) 犬・猫の共生ガイドブックについて

・愛護週間の環境省ポスターとともに公共施設に配布する予定。
・市のホームページにPDFファイルで掲載した。

(4) 基金寄付者への実績等報告について

・以前に基金に寄付された方を対象に、お礼の文書と用途についての報告書を動物愛護週間の時期に合わせて送付する予定。

(5) 収容動物のHPへの掲載について

(委員)

・収容動物の譲渡の掲載があると、捨てても譲渡されると思い遺棄が増えるのではないかと。
・譲渡、返還、処分等の結果を市民に知らせることが基本ではないかと。
・市の立場として、明確に掲載し問題があればその時に対応するといいいのでは。

(センター)

・譲渡したことを掲載したことで遺棄が増えているという印象はない。
・センターとして、HP上の収容動物の処分結果は全て掲載する。

○ 協議会の意見として、収容動物の処分結果は譲渡、返還、殺処分、全て掲載する方針でよい。

(6) 動物愛護推進員の活動について

- ・ 推進会議開催の報告（推進員意見）
 - ・ 猫の殺処分を減らしたい。
 - ・ TNR活動の周知看板の必要性。
 - ・ 協議会に推進枠を設けてはどうか。
 - ・ 収容動物の譲渡会を開催したい。（敷地内で推進員企画運営の予定）
 - ・ 次回会議を早めに設定してほしい。

（7）災害時のペット同行避難について

- ・ ある社協からC. O. Nに地域の防災訓練時に動物ボランティアの参加や災害時のペット同行避難のチラシ配布したいとの要望があった。

（委員）

- ・ 各地の防災訓練に、各地で推進委員が行ってペット同行避難についてアピールするとよいのではないか。
- ・ 社協での防災訓練の際に推進員がどうかかわるか。
- ・ 他の自治体には防災計画が綿密にできているところがある。フードはどう供給するか、避難所での住み分けなどの計画がある自治体も多い。
- ・ 尼崎市も先行例や専門家の意見を取り入れて、ちゃんとした避難計画を作るべき。例えば、独居高齢者の救助・避難にあたって、ペットを放っておくことはできない。

（センター）

- ・ ペットの防災について、国の発表している基本的な情報は市のホームページに記載している。
- ・ 防災対策については、市の他の部門と調整して計画を立てることになる。国からも防災計画の指示が出ており、ペットの避難も含む計画を立てているところである。
- ・ ペット同行避難のチラシを作成して、推進員宛に送付するので利用して欲しい。

（8）その他

- ・ TNRのパンフレット作成について、早急に作成してほしい。
- ・ 野良猫の不妊手術助成金の制度設計について
 - ・ 初期にあった助成金の地域枠を復活させてはどうか。
 - ・ 先着順か抽選か等、問題点を洗い出す機会を作って欲しい。
 - ・ 具体的には「手続きの煩雑さ」、「地域の合意形成のあり方」、「オス猫の手術」等。
- ・ 推進員会議の早期開催 ⇒ 譲渡会の企画が示された段階で開催予定。
- ・ 基金から基金広報の予算をだしてはどうか。
- ・ チラシ等の印刷物はHP上から自由にプリントさせてはどうか。
- ・ 動物愛護週間に合わせて何かイベントは開催できないか⇒市報に記事を掲載予定。
- ・ 猫のえさやり禁止ポスターがあるが、啓発（避妊、清掃）も含めた看板を作成して欲しい。
- ・ 猫のえさやりで節度のある人を見たことがない。どのようであっても糞尿対策は必要となってくるので、えさやりを許可するわけにはいかないだろう。
- ・ 防災計画について、日本獣医師会本部なら知恵を貸してもらえらる。

以上